



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月6日

上場会社名 株式会社ダイセル
 コード番号 4202 URL <https://www.daicel.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) IR広報グループリーダー
 四半期報告書提出予定日 2020年11月12日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

上場取引所 東

(氏名) 小河 義美
 (氏名) 廣川 正彦
 配当支払開始予定日

TEL 03-6711-8121
 2020年12月2日

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	175,346	△16.8	9,107	△49.0	10,166	△45.5	3,273	△72.0
2020年3月期第2四半期	210,681	△10.4	17,858	△39.5	18,658	△42.1	11,683	△47.8

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 7,737百万円 (14.5%) 2020年3月期第2四半期 6,758百万円 (△77.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	10.78	—
2020年3月期第2四半期	35.96	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	589,186	380,977	60.1	1,174.84
2020年3月期	597,992	392,583	60.6	1,166.56

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 354,019百万円 2020年3月期 362,545百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	16.00	—	18.00	34.00
2021年3月期	—	16.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2020年3月期期末配当金の内訳 普通配当 16円00銭 記念配当 2円00銭(創立100周年記念配当)

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	368,000	△10.9	22,000	△25.8	23,000	△27.6	14,000	181.2	46.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	302,942,682 株	2020年3月期	315,942,682 株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	1,609,367 株	2020年3月期	5,160,966 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	303,557,332 株	2020年3月期2Q	324,950,291 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

連結業績予想は、現時点で入手された情報に基づき判断したものであり、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありうることをご承知おきください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(追加情報)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(連結の範囲又は持分法の範囲の変更)	9
(四半期連結損益計算書関係)	9
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、新型コロナウイルスの感染拡大による経済活動停滞に一部で持ち直しの動きがみられるものの、引き続き厳しい状況で推移しており、先行きは不透明な状況にあります。

このような環境の中、当社グループは、徹底したコストダウンに取り組み、収益の確保に懸命に取り組んでまいりましたが、自動車生産台数の減少をはじめ、様々な産業において需要が低迷したことから、当第2四半期連結累計期間の業績は前年同期と比較し減収減益となりました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は1,753億46百万円（前年同期比16.8%減）、営業利益は91億7百万円（同49.0%減）、経常利益は101億66百万円（同45.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は32億73百万円（同72.0%減）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

なお、当連結会計年度より報告セグメントを変更しております。

[メディカル・ヘルスケア事業]

コスメ・健康食品事業は、海外での需要の先取りなどにより化粧品原料の販売数量が増加したものの、市況が下落し、減収となりました。

キラル分離事業は、キラルカラムの販売増加や、中国、インドでの事業が好調に推移したことにより、増収となりました。

当部門の売上高は、77億84百万円（前年同期比0.8%減）、営業利益は、販売価格の低下などにより、8億16百万円（同21.8%減）となりました。

[スマート事業]

液晶表示向けフィルム用の酢酸セルロースや高機能フィルムなどのディスプレイ事業は、ディスプレイ需要の低迷などにより、販売数量が減少し、減収となりました。

電子材料向け溶剤やレジスト材料などのIC/半導体事業は、半導体市場の需要が堅調に推移したことにより、販売数量が増加し、増収となりました。

当部門の売上高は、103億16百万円（前年同期比20.0%減）、営業利益は、販売数量の減少などにより、10億36百万円（同55.0%減）となりました。

[セイフティ事業]

自動車エアバッグ用インフレーター（ガス発生装置）などのモビリティ事業は、自動車生産台数の減少などにより、販売数量が減少し、減収となりました。

当部門の売上高は、271億87百万円（前年同期比31.8%減）、利益面では、販売数量減少による稼働率低下などもあり、営業損失16億68百万円（前年同期は営業利益23億51百万円）となりました。

[マテリアル事業]

酢酸は、需要の減少や市況の下落などにより、減収となりました。

酢酸誘導体は、一部製品の需要増加により販売数量が増加したものの、酢酸市況の下落などで販売価格が低下したことにより、減収となりました。

たばこフィルター用トウは、海外主要顧客での原料確保の動きなどもあり、販売数量は横這いで推移しました。一方、為替の影響などにより、販売価格が低下し、減収となりました。

カプロラクトン誘導体やエポキシ化合物などは、欧州市場やLED向けなどの需要の減少により販売数量が減少し、減収となりました。

当部門の売上高は、492億85百万円（前年同期比10.5%減）、営業利益は、販売数量の減少などにより、74億85百万円（同5.6%減）となりました。

[エンジニアリングプラスチック事業]

ポリアセタール樹脂、PBT樹脂、液晶ポリマーなどのエンジニアリングプラスチック事業は、自動車生産台数の減少やスマートフォンの需要低迷などにより、減収となりました。

ABS樹脂、エンプラアロイを中心とした樹脂コンパウンド事業は、自動車生産台数の減少や住宅着工件数の減少などにより、減収となりました。

シート、成形容器、包装フィルムなどの樹脂加工事業は、包装フィルムの販売の減少などにより、減収となりました。

当部門の売上高は、746億71百万円（前年同期比16.9%減）、営業利益は、販売数量の減少などにより、82億28百万円（同31.6%減）となりました。

[その他]

その他部門は、防衛関連事業での販売数量が増加したことなどにより、増収となりました。

当部門の売上高は、61億1百万円（前年同期比17.7%増）、営業利益は、9億36百万円（同179.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

総資産は、有形固定資産等の増加がありましたが、受取手形及び売掛金やたな卸資産等の減少により、前連結会計年度末に比し88億6百万円減少し、5,891億86百万円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金等の減少がありましたが、長期借入金等の増加により、前連結会計年度末に比し28億1百万円増加し、2,082億9百万円となりました。

また純資産は、3,809億77百万円となりました。純資産から非支配株主持分を引いた自己資本は、3,540億19百万円となり自己資本比率は60.1%となりました。

② 当期のキャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、802億81百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動による資金の増加は218億61百万円（前年同期は、352億99百万円の増加）となりました。資金増加の主な内容は、税金等調整前四半期純利益83億97百万円および減価償却費126億60百万円であり、資金減少の主な内容は、仕入債務の増減額97億70百万円であります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動による資金の減少は181億12百万円（前年同期は、291億73百万円の減少）となりました。資金減少の主な内容は、有形固定資産の取得による支出156億71百万円であります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動による資金の減少は43億2百万円（前年同期は、182億2百万円の減少）となりました。資金増加の主な内容は、長期借入れによる収入161億18百万円であり、資金減少の主な内容は、自己株式の取得による支出82億85百万円、配当金の支払額55億94百万円および非支配株主への配当金の支払額52億25百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高はほぼ予想並みとなりましたが、コストダウンの着実な実行とコロナ禍に対応した経費削減などにより予想を上回る利益となりました。第2四半期連結累計期間の経営成績、下期以降の事業環境の見通しや、販売価格の維持・是正による原料価格低下メリットの確保、コストダウンの徹底などの収益改善のための取り組み、10月のポリプラスチックス完全子会社化などを踏まえ、2020年5月27日に公表した2021年3月期通期連結業績予想を以下のとおり修正しております。

<2021年3月期の通期連結業績予想>

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	386,000	17,500	19,500	10,000	32円18銭
今回発表予想 (B)	368,000	22,000	23,000	14,000	46円46銭
増減額 (B-A)	△18,000	4,500	3,500	4,000	
増減率 (%)	△4.7	25.7	17.9	40.0	
(ご参考) 前期実績	412,826	29,644	31,781	4,978	15円49銭

※1. 業績予想数値は、現時点で入手された情報に基づき判断したものであり、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありうることをご承知おきください。

※2. 今回発表予想の第3四半期以降の前提につきましては、為替相場は105円/US\$、メタノールアジアスポット価格はUS\$200/ton、ドバイ原油価格はUS\$45/bbl、国産ナフサ価格は30,000円/k1を想定しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	80,751	80,357
受取手形及び売掛金	79,499	73,015
有価証券	629	917
たな卸資産	117,414	110,095
その他	19,812	19,165
貸倒引当金	△66	△44
流動資産合計	298,040	283,507
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	61,064	60,293
機械装置及び運搬具(純額)	65,559	64,774
土地	30,132	30,103
建設仮勘定	42,354	46,728
その他(純額)	5,235	4,946
有形固定資産合計	204,346	206,845
無形固定資産		
のれん	5,194	4,678
その他	8,183	7,843
無形固定資産合計	13,378	12,522
投資その他の資産		
投資有価証券	61,813	64,188
その他	20,468	22,177
貸倒引当金	△54	△54
投資その他の資産合計	82,227	86,310
固定資産合計	299,952	305,678
資産合計	597,992	589,186

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	45,007	35,222
短期借入金	6,902	9,112
1年内返済予定の長期借入金	10,336	9,646
未払法人税等	2,240	2,570
修繕引当金	—	1,272
環境対策引当金	1,725	1,596
その他	40,014	36,552
流動負債合計	106,226	95,972
固定負債		
社債	40,003	40,003
長期借入金	32,197	46,048
繰延税金負債	7,861	8,888
役員退職慰労引当金	62	71
修繕引当金	1,167	744
環境対策引当金	547	289
退職給付に係る負債	10,992	10,602
資産除去債務	1,229	1,246
その他	5,119	4,343
固定負債合計	99,182	112,237
負債合計	205,408	208,209
純資産の部		
株主資本		
資本金	36,275	36,275
資本剰余金	31,692	31,572
利益剰余金	271,762	257,725
自己株式	△5,050	△1,446
株主資本合計	334,679	324,126
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	26,582	28,356
繰延ヘッジ損益	△69	△60
為替換算調整勘定	△656	△385
退職給付に係る調整累計額	2,009	1,982
その他の包括利益累計額合計	27,865	29,892
非支配株主持分	30,038	26,957
純資産合計	392,583	380,977
負債純資産合計	597,992	589,186

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	210,681	175,346
売上原価	152,037	127,957
売上総利益	58,644	47,388
販売費及び一般管理費	40,785	38,281
営業利益	17,858	9,107
営業外収益		
受取利息	239	124
受取配当金	802	845
持分法による投資利益	965	1,000
その他	655	762
営業外収益合計	2,662	2,733
営業外費用		
支払利息	627	488
為替差損	884	584
その他	350	602
営業外費用合計	1,862	1,674
経常利益	18,658	10,166
特別利益		
固定資産処分益	39	27
投資有価証券売却益	2,380	—
特別利益合計	2,420	27
特別損失		
固定資産除却損	643	265
減損損失	—	1,530
特別損失合計	643	1,795
税金等調整前四半期純利益	20,434	8,397
法人税、住民税及び事業税	3,193	2,485
法人税等調整額	1,775	199
法人税等合計	4,969	2,684
四半期純利益	15,465	5,713
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,781	2,440
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,683	3,273

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	15,465	5,713
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,160	1,829
繰延ヘッジ損益	△79	13
為替換算調整勘定	△6,282	72
退職給付に係る調整額	400	△4
持分法適用会社に対する持分相当額	△584	112
その他の包括利益合計	△8,707	2,023
四半期包括利益	6,758	7,737
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,250	5,300
非支配株主に係る四半期包括利益	2,507	2,436

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	20,434	8,397
減価償却費	14,517	12,660
減損損失	—	1,530
のれん償却額	362	541
受取利息及び受取配当金	△1,041	△970
支払利息	627	488
持分法による投資損益(△は益)	△965	△1,000
固定資産除売却損益(△は益)	603	238
投資有価証券売却損益(△は益)	△2,380	—
売上債権の増減額(△は増加)	11,171	6,438
たな卸資産の増減額(△は増加)	5,761	7,214
仕入債務の増減額(△は減少)	△8,091	△9,770
その他	830	1,835
小計	41,831	27,603
利息及び配当金の受取額	1,344	1,024
利息の支払額	△653	△485
法人税等の支払額	△7,222	△6,281
営業活動によるキャッシュ・フロー	35,299	21,861
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△28,425	△15,671
有形固定資産の売却による収入	79	12
無形固定資産の取得による支出	△1,230	△883
投資有価証券の取得による支出	△258	△203
投資有価証券の売却及び償還による収入	3,248	313
貸付けによる支出	△435	△18
貸付金の回収による収入	43	56
その他	△2,195	△1,717
投資活動によるキャッシュ・フロー	△29,173	△18,112
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△4,108	2,178
長期借入れによる収入	2,161	16,118
長期借入金の返済による支出	△1,762	△2,524
自己株式の取得による支出	△6,100	△8,285
配当金の支払額	△5,250	△5,594
非支配株主への配当金の支払額	△2,833	△5,225
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△411
リース負債の返済による支出	△308	△556
財務活動によるキャッシュ・フロー	△18,202	△4,302
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,256	160
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△14,333	△392
現金及び現金同等物の期首残高	120,016	80,674
現金及び現金同等物の四半期末残高	105,683	80,281

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(追加情報)

(会計上の見積りに対する新型コロナウイルス感染症の影響)

新型コロナウイルス感染症の影響について、当社グループにおいては主に自動車エアバッグ用インフレーターやエンジニアリングプラスチックの需要減少等の影響を受けております。

当社グループでは当連結会計年度において、上期に国内外の経済活動が制約を受ける結果となり、下期につきましては、当初の予想通り徐々に回復すると現時点では想定しております。

この想定に基づき、繰延税金資産の回収可能性の評価や有形および無形固定資産等の会計上の見積りを行っております。今後の感染の広がり方や収束時期等を正確に予測することは困難な状況である中で入手可能な情報に基づき慎重に検討しておりますが、仮に新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響が想定以上に長期化するなど、見積りの前提とした条件や仮定に変更が生じた場合、当社グループの当連結会計年度以降の繰延税金資産等の評価や有形および無形固定資産の減損等に影響を及ぼす可能性があります。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年8月21日開催の取締役会決議に基づき、2020年9月14日付で、自己株式13,000,000株の消却を実施いたしました。この結果、当第2四半期連結累計期間において利益剰余金及び自己株式がそれぞれ11,681百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末において利益剰余金が257,725百万円、自己株式が△1,446百万円となっております。

(連結の範囲又は持分法の範囲の変更)

連結の範囲の重要な変更

当第2四半期連結会計期間より、ダイセルポリマー(株)は一般用途樹脂事業、一般用途長繊維事業及びシート事業の販売部門についてダイセルミライズ(株)に会社分割し、自動車関連事業及び製造部門については(株)ダイセルに吸収合併されたことにより、消滅会社となりました。これによりダイセルポリマー(株)は連結の範囲から除外しております。

(四半期連結損益計算書関係)

(減損損失)

当社グループは、カンパニー、SBUおよびBUを最小の単位として資産のグルーピングを行っており、当第2四半期連結累計期間において、(株)ダイセル(日本)およびDaicel Safety Systems Americas, Inc.(米国)の自動車エアバッグ用インフレーター製造設備等について減損損失を計上いたしました。

当該資産グループは、投資額の回収が困難であると予想されるため、当該資産グループの帳簿価額を回収可能額まで減損し、当該減少額を減損損失(日本:建物及び構築物2百万円、機械装置15百万円、工具器具備品20百万円、建設仮勘定938百万円、その他41百万円、米国:建物及び構築物20百万円、機械装置7百万円、工具器具備品5百万円、建設仮勘定477百万円)として特別損失に計上いたしました。

なお、当該資産グループの回収可能価額は、正味売却価額により測定しており、主として不動産鑑定評価額により算定しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	メディカ ル・ヘルス ケア	スマート	セイフティ	マテリアル	エンジニア リングプラ スチック	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	7,845	12,895	39,843	55,051	89,859	205,496	5,185	210,681	—	210,681
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	78	100	—	5,850	459	6,489	7,958	14,448	△14,448	—
計	7,924	12,996	39,843	60,902	90,318	211,985	13,144	225,129	△14,448	210,681
セグメント利益	1,044	2,304	2,351	7,929	12,037	25,668	335	26,003	△8,145	17,858

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メンブレン事業および運輸倉庫業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△8,145百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社における基礎研究および管理部門等に係る費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	メディカ ル・ヘルス ケア	スマート	セイフティ	マテリアル	エンジニア リングプラ スチック	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	7,784	10,316	27,187	49,285	74,671	169,244	6,101	175,346	—	175,346
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	144	72	—	4,070	568	4,856	6,636	11,492	△11,492	—
計	7,929	10,388	27,187	53,356	75,239	174,100	12,738	186,839	△11,492	175,346
セグメント利益 又は損失(△)	816	1,036	△1,668	7,485	8,228	15,898	936	16,834	△7,727	9,107

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メンブレン事業および運輸倉庫業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△7,727百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社における基礎研究および管理部門等に係る費用であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(単位：百万円)

	メディカル・ヘルスケア	スマート	セイフティ	マテリアル	エンジニアリングプラスチック	その他	全社・消去	合計
減損損失	—	—	1,530	—	—	—	—	1,530

3. 報告セグメントの変更等に関する情報

当連結会計年度より、「戦略ビジネスユニット(SBU)」を中心とする組織に移行したことに伴い、報告セグメントを従来の「セルロース」「有機合成」「合成樹脂」「火工品」の4区分から、「メディカル・ヘルスケア」「スマート」「セイフティ」「マテリアル」「エンジニアリングプラスチック」の5区分に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、会社組織変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(重要な後発事象)

(子会社株式の追加取得)

当社は、当社の連結子会社であるポリプラスチック株式会社の発行済株式のうちCelanese Corporationが子会社を通じて保有する全株式を取得する旨の契約を締結し、2020年10月9日付で株式取得を行いました。

(1) 企業結合の概要

①結合当事企業の名称およびその事業の内容

結合当事企業の名称：ポリプラスチック株式会社

事業の内容：各種ポリマーおよびプラスチック等の製造販売

②企業結合日

2020年10月9日

③企業結合の法的形式

非支配株主からの株式取得

④結合後企業の名称

変更ありません。

⑤取得した議決権比率

企業結合直前に所有していた議決権比率 55%

取得後の議決権比率 100%

⑥その他取引の概要に関する事項

追加取得する株式の議決権比率は45%であり、当該取引によりポリプラスチック株式会社を当社の完全子会社といたします。当該追加取得は、連結経営の効率化・グループ経営体制の強化を目的として行うものであります。

(2) 実施する予定の会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成31年1月16日)および「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成31年1月16日)に基づき、共通支配下の取引等のうち、非支配株主との取引として処理する予定であります。

(3) 被取得企業の取得原価および対価の種類ごとの内訳

取得の対価 現金及び預金 1,575百万米ドル

取得原価 1,575百万米ドル

(4) 非支配株主との取引に係る当社の持分変動に関する事項

①資本剰余金および利益剰余金の主な変動要因

子会社株式の追加取得

②非支配株主との取引によって減少した資本剰余金および利益剰余金の金額

現時点では確定していません。

(多額な資金の借入)

当社は、上記のポリプラスチックス株式会社の追加株式取得にあたり、2020年10月8日に以下の特殊当座借越契約に基づく借入をブリッジローンとして実行しております。

① 契約先	(株)三井住友銀行
② 契約日	2020年7月20日
③ 極度額	200,000百万円
④ 借入実行額	167,000百万円
⑤ 利率	基準金利+スプレッド
⑥ 借入実行日	2020年10月8日
⑦ 最終返済期限(契約期限)	2021年3月31日
⑧ 担保の有無または保証の内容	なし

(多額な社債の発行)

当社は、上記ブリッジローンのパーマネント化にあたり、2020年11月6日開催の取締役会において、国内無担保普通社債の発行について以下の通り包括決議を行いました。

① 発行総額	1,000億円以内 (ただし、この範囲内で複数回の発行を妨げない。)
② 発行価格	各社債の金額100円につき金100円以上
③ 発行時期	2020年11月9日から2021年3月24日まで (ただし、2021年3月24日までに募集が行われた場合については、発行時期に含まれるものとする。)
④ 利率	年1.0%以下
⑤ 償還期限	10年以内
⑥ 償還方法	満期一括償還
⑦ 資金使途	借入金返済資金
⑧ 特約事項	本社債について「担保提供制限条項」の他、社債発行に際し必要とされる特約を付す。
⑨ その他	会社法第676条各号に掲げる事項およびその他社債発行に必要な事項の決定は、上記の範囲内で代表取締役に一任するものとする。